

久留米市イメージキャラクター「くるっぱ」 着ぐるみ取扱い説明書

必ずお読みいただき、イメージを大切に、正しくお使いください



くるっぱ

久留米市シティプロモーション実行委員会

1. 必ずお守りください

- 「くるっば」のプロフィール等をご理解いただき、「くるっば」のイメージを壊すことのないよう振舞ってください。
- 着用者は、身長150～160cm程度の方でお願いします。
- 着用者の健康管理や、周囲の安全確保には十分にご留意ください。
- 雨天時の屋外や激しい動きなど、汚れや破損が懸念される場合は、使用しないでください。
- その他、本取扱い説明書をよく読み、正しくお使いください。

2. 「くるっば」プロフィール



生まれ 久留米市筑後川
性格 子ども好き
趣味 お散歩

3. 貸出物

- | | | | |
|----------|----|---|----------|
| ○本体 | 1体 | } | (紺色の袋入り) |
| ○甲羅 | 1枚 | | |
| ○動きマニュアル | 1部 | | |
| ○足(靴) | 1足 | | (紺色の袋入り) |

4. 着用者

- 身長150～160cm程度の方が着用してください。
- 着ぐるみ着用時には、視野や動きに制限がある上、暑さで大量の汗をかきます。動きやすい服装で着用してください（こまめに着替えをするなど、着ぐるみ内の衛生管理をお願いします）。
- 靴下は必ず着用してください（5本指ソックスの方が、踏ん張りが利く上、ムレ防止にもなりオススメです）。
- 頭にタオルを巻いておくと、汗が目に入らず便利です。
- 肩などに重みがかかり痛くなる場合もあります。そのときもタオルなどをあてると少し和らぎます。
- 着ぐるみの中にペットボトルホルダーがあります。ただし、曲がるストローがないと飲めません（ペットボトルを持ち込む場合には、内部で水漏れがしないよう、十分にご留意ください）。

5. 着用手順

- (1) 本体に甲羅を装着します。
 - ①甲羅に付いているベルトを本体の背中の中に通す。
 - ②内側からベルトを引っ張り、マジックテープで固定。
- (2) 足（靴）を履きます。
 - *左右を間違えないようにしてください。
- (3) 本体を着用します。
 - *かなり大きいため、2名程度の方で持ち上げるなど、補助してください。

6. 着用後の管理

- 汗などの余分な水分を清潔なタオルで乾拭きし、風通しの良い場所で陰干しして乾かしてください。
- 適宜、除菌消臭スプレーなどをご使用ください。
- 着ぐるみが型崩れしないよう、置き方には十分ご注意ください。
- 地面などに置いておく場合は、キズや汚れが付かないよう、下にビニールなどをひくようにしてください。

7. 着用時の注意事項

- (1) 体調管理をしっかり！

○着用時は、暑さや重みで予想以上に体力を消耗します。長くても20分程度で交代するようにし、十分な水分補給をしてください（「お皿が乾いてきたから～」と説明すると退場時にスムーズです）。夏場や暖房のきいた屋内など、温度が高い場合は特にご注意ください。

(2) 安全確保をしっかりと！

○着用時は、視界がとても悪く、特に「くるっぱ」の足元など近くに寄ってくる小さな子どもたちはほとんど見えません。また、「くるっぱ」自身も背中から押されるなどして転倒してしまうと、自力で起き上がることはできません。1～2名の付き添いを必ず付けて、安全確保をお願いします。

(3) 夢を壊さない！

- 着ぐるみを着たり脱いだりするところを、関係者以外の方に見られないようにしてください。
- 着ぐるみを、関係者以外の方に見られるところに放置しないようにしてください。
- 着ぐるみは、正しく着用してください。
- 「くるっぱ」はおしゃべりができません（筆談やパネルなどによるコメントもできません）。付き添いの方が代弁して「くるっぱ」の気持ちをお客様にお伝えください。

(4) 市のイメージキャラクターということを理解して！

○「くるっぱ」は個別のお店や商品の紹介はできません。

(5) 親しまれるキャラクターに！

- 動きはオーバーに、明るく、楽しそうな振舞いをしてください。
- 小さな子どもにはできる限りしゃがんで対応する。

7. 付き添い者の注意事項

(1) 着用者の体調管理・安全確保をしっかりと！

- 着用時は、暑さや重みで予想以上に体力を消耗します。「くるっば、まだお皿は乾いてない？大丈夫？」といった尋ね方で、着用者に対し、こまめに体調を確認してください。夏場や暖房のきいた屋内など、温度が高い場合は特にご留意ください。
- 着用者が体調不良などを訴えた場合は、迅速な対応をしてください。
- 歩行時や段差のあるときなど、着用者に対し周囲の状況を的確に伝えるとともに、手を引くなどの補助を行い、安全の確保をしてください。
- 子どもが背中を押したり、手を引っ張ったりすると、転倒の危険があります。「くるっばには優しくしてね」など言いながら、子どもを遠ざけるなど、安全の確保をしてください。あまりにも危険な行為に対しては、毅然とした態度でお断りしてください。

(2) 周囲の安全確保をしっかりと！

- 着ぐるみ着用者は、周囲がほとんど見えていません。その上、着ぐるみが動いたときの圧力は、子どもたちを軽く倒してしまいます。歩行時には、前後もしくは左右に付き添い、通り道を確保するとともに、周囲の方に「くるっばが通ります」と注意を促してください。
- 子どもたちは、くるっばの足元や胴回りに集まる傾向にあります。「くるっば、子どもたちが足元にいるよ、後ろにいるよ」などと声がけし、周囲の状況を伝え、事故防止に努めてください。

(3) 夢を壊さない！

- 「くるっばはどこから見ているのか？性別は？」といった質問を多く受けます。「くるっばは目から見ているし、くるっばはくるっばだよ」など答えてください。

(3) 明るく元気に！

- 付き添いの方の雰囲気も、くるっばのイメージを左右する重要なポイントです。くるっばの魅力をさらに上げるよう、明るく元気に振舞ってください。
- 握手や写真撮影の際、人の整理を行うなど、スムーズな対応をお願いします。

8. 動き方・ポーズ

(1) 基本姿勢



少し前かがみ

- * 視界が悪いため、無意識に上体が上向きになってしまうのを防ぐ

(2) 歩く



- ・手をパタパタさせながら、少しガニ股で歩く。
- ・歩幅は小さめ。
- ・足音をバタバタと言わせながら、数歩駆け寄ったりすると動きに幅が出る。

(3) 嬉しいとき

* お皿を触られると喜ぶ



- ・胸のあたりで両手をパタパタさせる。
- ・体を上下させる。
 - * 周囲の方に注意。

(4) 悲しいとき



前傾姿勢でしゃがみ、目のしたに両手をもってい
き、体を左右に小刻みに揺らす。

(5) 爆笑



体を後ろに反らして、両手でお腹をパンパンたた
く。

(6) 驚く



体を後ろに反らせて、両手を挙げる。
*着用者は、手のひらを上に向けると、くるっ
ぱの手を挙げやすい。

(7) バイバイ (手を振る)



体を左右どちらかに斜めにし、肩が上になった方の手を横（水平）に振る。

* 体を右に傾けた場合は、左手を振る。

(8) 疲れた



しゃがんで体を斜めにし、片手を地面に付ける。

* 手はパタパタさせない。

(9) 限界・トイレ（交代したいとき）



しゃがみ、両手を地面に付けてパタパタさせる。

* MCや付き添い者は「くるっぱのお皿が乾いたみたい」と話しながら、会場を退席する。

(10) 写真を撮られるとき



両手を口にあてて、片足を一步前に出し、つま先を上げる。

(11) 気をつけ



両脇部分を少し持ち上げ、両手を腰にあてる。

(12) 礼 (おじぎ)



両手は腰にあてたまま、脚を深く折り曲げ、前かがみになる。

(13) じゃんけん・グー



両脚を胴体に入れてしまうかたちでしゃがむ

(14) じゃんけん・チョキ



半身の体勢になり、前に出た方の手を前に突き出す。

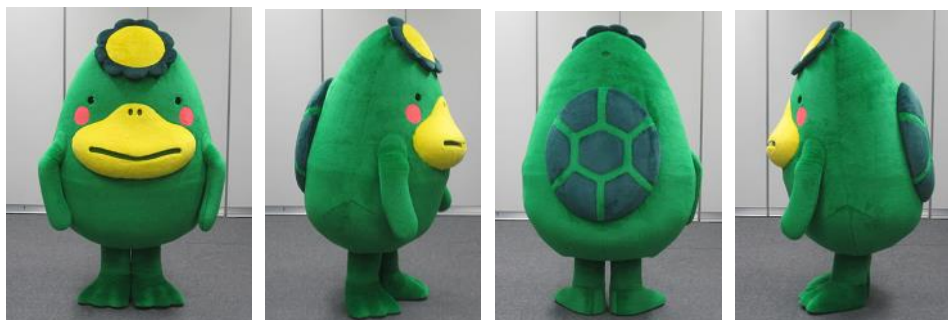
(15) じゃんけん・パー



両手・両脚を大きく広げる

(16) 決めポーズ①

* 会場の人みんなで言う「くるーっぱ」の掛け声に合わせてポーズ



手を体に付けて、一回転する

くるー-----



正面を向いて、手を閉じてしゃがむ

っ



手を開いて立ち上がる。片足はつま先を立てる。

ぱ

(17) 決めポーズ②

* アイーン



片足を前に出し、前に出た方の手を曲げる。